

THE GIFTS SHOP News

2020 / vol.23

端午の節句は 郡上本染で

郡上八幡で430年。江戸時代から継承される「郡上本染」は、天然藍で何度も繰り返し染めた深い藍色が特徴。独特の風合いで使うほどに藍染めの良さが表れる逸品は、健やかな成長を願う節句のお祝いにおすすめです。



使うほどに紺色から青色へ、「ジャパン・ブルー」と呼ばれる高貴な色合い。

タベストリー「兜」(約50×150cm) 34,000円、
タベストリー 鯉のぼり三匹(約45×108cm) 30,000円、鯉のぼり二匹 額絵(65×57cm) 34,000円 渡辺染物店

正藍染

化学染料での藍染が主流となる中、渡辺染物店は天然の藍を原料とした伝統の染色技法「正藍染」を守る数少ない染物店。天然藍には防虫効果もあるとして古くから風呂敷や衣類として親しまれ、現在は海外でも高く評価されています。

染色

正藍染は、藍草を発酵させたものに灰汁・石灰などを混ぜ、土間に埋め込んだ甕で醸成させた染め液を使います。“生きている状態”の染め液は、湿度や温度に気を配りながら毎日攪拌しています。

柄入れ

一点一点、職人による手作業で図柄を描き、着色しない部分に天然の餅糊を付けます。大豆の絞り汁に顔料を溶いた染料で色付けをした後、天然藍の染め液に浸し、藍の染色を行います。

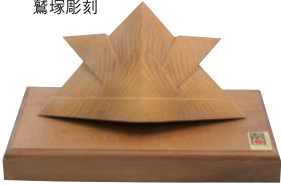
洗い

清流の川の水ですすぎます。仕上がりの濃さやデザインに合わせて染めから洗いの行程を、多い時で数十回も繰り返し行い、何度も丁寧に染めることで正藍染の美しさを引き出します。

「端午の節句」に飾りたい工芸アイテム

昔から銘木として知られる飛騨のイチイ材。その木目の比類ない美しさから、彩色を施さない独特の刀法として生み出されたのが一位一刀彫です。飛騨高山が世界に誇る伝統工芸による「兜」は、シンプルさゆえの木目の美しさや気品を感じます。

一位一刀彫 オリガミ「兜」 17,000円
鷺塚彫刻



素朴な生木綿に飛騨の木版で染付けするという、独自に開発された木版手染め。もみ殻を詰めて丁寧に縫い合わせた手作りのぬいぐるみは、専用ボックスをディスプレイ台としてご使用いただけます。「兜」には背面に矢と炎で少年の情熱が表現され、「鯉のぼり」には菖蒲や薔の波模様がデザインされています。木版手染ぬいぐるみ 鯉のぼりセット 2,900円／錦兜 2,400円 真工藝

暮らしの中で「森の香り」を感じたい



陶器のもつ豊かな色彩に、金属筐体のソリッドな質感が組み合わせることで、工芸品と家電の個性を併せ持ったアロマディフューザー。職人の手によって特殊な釉薬で仕上げた陶器の心地よさを体感しながら香りを楽しめます。WEEK END アロマディフューザー (SV/GD/BK) 各15,800円 ミュージコーポレーション



スギやヒノキなど、飛騨の樹々から抽出した精油をメインに、国内外の自然素材から抽出した100%天然由来・無添加の精油をブレンドし、暮らしの悩みに合わせたブレンドオイルが新しく入荷しました。使いたいシーンが明確なので初心者でも簡単に生活に取り入れることができます。「WAKE UP」「FOCUS」「ANTI-VIRUS」ブレンドエッセンシャルオイル5ml 各2,000円 飛騨産業

日本人の心身を浄化してくれるものと考えられ、古くより使われてきた香炉。匠技によって温もりある木で作られた「森香炉」は、伊勢志摩G7サミットやレクサスでも採用。香りを焚かずに自然芳香液を垂らして香りを楽しめます。森香炉(麻の葉/青海波) 各5,000円 正プラス

戦国武将「明智光秀」関連の縁起アイテム

今話題の戦国武将「明智光秀」。美濃和紙ならではの良質でふっくらとした手触りと、あたたかな雰囲気です。10年以上も愛され続けるそえぶみ箋に、すでに商品化された信長と並んで、光秀が限定商品として登場。そえぶみ箋 織田信長/明智光秀(ザギワフショップ限定商品) 各400円 古川紙工



雁皮紙の透明感を最大限に引き立たせる配置で、明智光秀の家紋として知られる桔梗の絵柄をあしらった水うちわ。水うちわ 桔梗 台座付 8,340円 家田紙工



白磁土を薄く作り込み、1340℃の高温で焼き上げることでしっとりとした質感を実現。発売以来、その白磁特有の情感が好評なシリーズで、「桔梗柄」を水玉のようにあしらいました。kikyoh 酒器セット 木箱入 4,000円 ミヤマプランニング





大切な人との大切な時間を、何世代も愛用できる家具で。

飛驒の匠の技により、日本を代表する家具デザイナー・岩倉榮利氏の感性と融合した「凜シリーズ」が登場。ストイックなフォルムでありながらも温もりを感じる、次世代へと受け継がれ愛用されるにふさわしいシリーズです。ぜひお店でご体感ください。(木材は写真のブラックウォールナット材とレッドオーク材より選べます)

2020年 3月・4月・5月のイベント案内

当店は、岐阜の良いモノを再発見しながら楽しめるイベントを開催しています。そこでのご意見が次の商品開発へ。岐阜のモノづくりの発展に参加してみませんか？ 店内では様々なイベントフェアや、体験ワークショップ、日本酒ワークショップを毎月1回ずつ開催。詳しい日程や内容は、ホームページをご覧ください。

※一部内容変更になる場合がございます。

3月

3/28(土)

10:30~13:00

●体験ワークショップ
「飛驒の広葉樹でスツール作り」

会費:お一人様12,000円(定員6名)
講師:kino workshop

3/22(日)

15:15~16:45

●日本酒ワークショップ
「奥飛驒酒造」

会費:お一人様3,000円(定員20名)
会場:円相くらうど(ショップ隣り)
講師:奥飛驒酒造スタッフ

4月

4/11(土)

10:30~12:00

●体験ワークショップ
「木の特性を学んで作る、
小さな板とカッティングボード」

会費:お一人様4,950円(定員6名)
講師:woodpecker 福井 賢治

4/5(日)

15:15~16:45

●日本酒ワークショップ
「日本泉」

会費:お一人様3,000円(定員20名)
会場:円相くらうど(ショップ隣り)
講師:日本泉スタッフ

5月

5/16(土)

10:30~12:00

●体験ワークショップ
「気持ちを整える
アロマスプレー作り」

会費:お一人様1,100円(定員6名)
講師:松田 旬古 協力:飛驒産業

5/17(日)

15:15~16:45

●日本酒ワークショップ
「武内合資会社」

会費:お一人様3,000円(定員20名)
会場:円相くらうど(ショップ隣り)
講師:武内合資会社スタッフ

「木の道具展」

3/14(土)~4/5(日)

古来から良質な木材の産地として、家具などの材料を提供してきた岐阜県。木工技術の学校もあり、専門的に学んだ職人が数多くいます。そんな岐阜で活躍する木工作家のお皿やカトラリーなど、身近に取り入れて木の良さを感じていただきたいこだわりの作品を取り揃え、展示販売します。

「郡上本染のタペストリー展」

4/11(土)~5/6(水)

郡上本染は江戸時代から400年続く日本伝統の「正藍染」です。大正時代には17軒あった紺屋が、現在は「渡辺染物店」1軒が残るのみ。天正8年(1580年)から続く技法で1点1点、手作業で柄入れをし、何度も何度も丁寧に染め、正藍染の美しさや手作りの温かさを伝える本物の藍染のタペストリーを数多くご紹介します。

「美濃焼の茶器展」

4/25(土)~5/24(日)

5月は新茶の時期です。岐阜は白川茶や揖斐茶といったお茶の産地もあります。お茶を飲む時間をより楽しむために、美濃焼の様々な急須や湯呑を集めて展示販売します。自分らしいお気に入りのみつけてみませんか。

●詳しくはお問合せ (TEL 058-212-3255) もしくは、ホームページ (www.giftsshop.jp) にてご確認ください。

※ワークショップは全て税込です。 ※写真はイメージです。実際と異なる場合があります。

参加申し込み方法 ●参加を希望される方は、イベント名・人数・お名前・連絡先をメッセージ欄にご記入いただき、メールかお電話でお申し込みください。

info@giftsshop.jp | 058-212-3255

●当日、ワークショップにご参加頂く際は、レジで受付をお済ませいただいてから、レシートを席においてご着席ください。

THE GIFTS SHOP
〒500-8856 岐阜県岐阜市橋本町1-10-1 アクティブG 2F TEL 058-212-3255 FAX 058-212-3256
営業時間 / 10:00~19:00 定休日 / アクティブG休館日に準じます。
※3月17日(火)、5月19日(火)はお休みとさせていただきます。
オンラインショップでも販売しています。 www.giftsshop.jp

